



はてはてい

## HATI-HATI

HATI-HATIはインドネシア語で相手を思いやる時に使うやさしいことばです。

先日、碧南警察署の方が来てくださり、詐欺被害を防ぐためのお話をしてくださいました。最近では、日本に住む外国人の方を狙ったニセ警察詐欺や、SNSを利用した投資詐欺の被害が増えているそうです。被害は若い方から高齢の方まで幅広く、電話も固定電話だけでなく、携帯電話にかかってくるケースが増えているとのことでした。

「一人で悩まず、地域やコミュニティの中で相談できる人を見つけることが大切です」というお話があり、改めて人とのつながりの大切さを感じました。当日は、皆さんがとても真剣にお話を聞いてくださり、充実した時間となりました。



### 新年のごあいさつ

公益社団法人 트레이ディングケア  
代表理事 新美 純子

新年あけましておめでとうございます。日頃より、公益社団法人 트레이ディングケアの活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。昨年も、多くの方々に支えられながら、外国人介護人材の育成や地域に根ざした取り組みを進めることができました。医療・福祉の現場、行政機関、地域の皆さま、そして共に歩んできた外国人材一人ひとりに、代表理事として深く感謝申し上げます。

本年も、私たちは「ともに生き、ともに働く社会」の実現に向け、現場に立ち続けながら、一步一步、確実に歩みを進めてまいります。そのために、今年は次の三つの目標を柱として取り組んでまいります。一つ目は、介護福祉士国家試験合格を目指す教育の充実です。インドネシア人材に加え、今後はミャンマー人材も含め、入国から五年以内にすべての人が介護福祉士国家試験に合格できることを目標とした教育カリキュラムの構築に取り組めます。日本語教育、専門知識、現場での実践をつなぐ体系的な学びを整え、「資格取得がゴール」ではなく、「長く安心して働き続けられる力」を育てていきます。二つ目は、外国人材との協働をさらに深めることです。これは、これから新たに来日する人だけでなく、現在日本で生活し、働いているすべての外国人材との関係性を指しています。共に働く仲間として、互いの文化や価値観を尊重し合いながら、現場や地域の中で役割を分かち合い、信頼関係を育てていく。その実践を、より意識的に広げていきたいと考えています。三つ目は、地域共生について、より深く考え、行動することです。地域共生は理念だけでは成り立ちません。日常の小さな違和感に目を向け、対話を重ね、実際の行動につなげていくことが必要です。

今年は、外国人材と地域住民、医療・福祉・行政が交わる場を大切にしながら、「ともに暮らす地域とは何か」を問い続け、形にしていきます。本年も、皆さまと力を合わせながら、一人ひとりが安心して暮らし、働ける社会づくりに取り組んでまいります。引き続き、温かいご支援とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

やさしい日本語  
「生活言語能力」と「学習言語能力」

林 三郎

当多文化つなぐセンターに、土曜日の午後「寺子屋タイム」が設けられています。小学生数人がめいめいの問題集などの課題を持参して学習しています。先日、そのうちの一人ベトナムから来ている6年生のハンちゃん（仮名）が学校の漢字テストで100点をとったよと、嬉しそうに報告してくれました。でも、理科とか社会とか算数の文章題が難しい、と悩みを話してくれました。ハンちゃんは日本に来て2年未満ですがほぼ普通に日本語が話せます。頭もよい子で、努力家でもあります。でも小学校高学年になると、教科書の内容は高度になります。日本人の子どもでも急に高度になった教科書には悩まされます。それは教科書の表現や内容が「生活言語」から「学習言語」に代わってくるからです。

「生活言語能力」は、日常の生活場面で必要とされる能力で、話の流れとか実際の場面の支えがある場合に働くものです。抽象的な概念や高度な思考を伴う言語活動ではないため、比較的早く身に付けることができる、一般的には2年ほどで習得が可能です。それに対して「学習言語能力」というのは、教科書での学習など、抽象的な思考や、分析・統合・評価といった高度な思考技能が必要とされる場で用いられるものです。文脈や場面の支えがない学習場面で必要になり、認知的な負担も大きくなります。ですから習得には、5年から7年以上必要だとされています。そのことを踏まえて学習者も保護者も、そして指導者も焦らずに子どもと向き合っていくことが大切だと思います。ハンちゃんもきっとできるようになります。

日本での生活を通して気づいたこと



初めて日本でインフルエンザA型にかかったとき、本当に怖い思いをしました。高い熱が続き、体もぐったりして、不安な気持ちのまま病院へ行きました。日本の診察の流れも分からず、さらに緊張しました。しかし、その時に気づいたのは、**病気のときこそ「落ち着くこと」が一番大切**だということです。落ち着いていれば、医師の説明もしっかり聞いて、薬の飲み方や対処法も正しく理解できます。この経験を通して、冬の健康管理は油断してはいけないと学びました。体を温めること、人が多い場所ではマスクをすること、こまめに手洗いをすること、そして少しでも異変を感じたら早めに受診することが大切です。インフルエンザA型は怖いですが、しっかり準備して、自分の健康を守り、そして何より落ち着いて行動すれば乗り越えられます。皆さんも冬の季節、どうか健康に気をつけてお過ごしください。 ジウ

【職員紹介】

みなさん、こんにちは。  
12月からインターンシップで、お世話になります。  
神谷大地です。  
サッカーと英会話が好きです。  
海外留学で学んだ事を活かして  
精一杯頑張ります。  
よろしくをお願いします。



セントレア空港到着後  
社会福祉法人南知多の職員さんと記念撮影



あい寿の丘の見学



自転車指導



15期生入国しました。

12月2日に社会福祉法人南知多の技能実習生3名が緊張した表情で入国してきました。社会福祉法人南知多の職員の方もお出迎えに来ていただき、実習生は険しい顔から笑顔に変わりました。今回から、入国前に介護テキストを配布し事前学習を取り組んでいます。入国後研修でも、事前学習の効果も少しずつ現れはじめてきました。12月は、クリスマス会、門松作り、大晦日、初詣など、この時期にしか体験できない日本の行事を学びながら楽しんでもらえればと思います。大きく成長して職場に行けるように一緒に楽しみながら頑張っています。 市川

編集後記

共生・人とのつながりを意識した冬

冬の寒さが増すほど、人のぬくもりや支え合いの大切さを感じます。日々の現場や地域の中で交わされる小さな声かけや行動が、確かな安心につながっていることを、改めて実感する季節です。本紙が、皆さまの取り組みや思いをつなぐ一助となれば幸いです。どうぞお身体に気をつけて、穏やかな冬をお過ごしください。鶴見



@TSUNAGU\_TAKAHAMA



公益社団法人 트레이ディングケア  
〒444-1303  
愛知県高浜市小池町6-5-6  
TEL 0566-57-7700  
FAX 0566-57-7700  
日・月・祝日はお休みです。

